

授 業 計 画

科目名 『 生活支援技術Ⅱ 』		講師名 高木 明美
		実務経験 有 ・ 無
対象学科名 介護福祉士学科	1 年	授業の方法 講義 演習
< 講 義 日 > 月曜日 2・3限		
[授業の内容] (学習全体の内容) *授業の全体像 尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うため知識・技術を、繰り返し演習を通して体得していく。 演習は技術の方法が理解しやすいように、グループ単位で行い状況に応じて個別などで進めていく。		
[到達目標] (どこまでのレベルまでを目標としているか) ① 生活支援を念頭に留意点を踏まえ、基本的な介護技術が理解・実践できるようになる。 ② 根拠に基づいた介護技術の実践ができるようになる。 ③ 福祉用具の活用方法を理解し説明できるようになる。 ④ 介護福祉士として基本的態度を身につけ、対人援助の自覚をもって実践できるようになる。		
[検 証] (学生の理解度を確認する方法) 例) 小テストの実施など。 ・小テスト ・課題の提出 ・技術のテスト		
[使用テキスト・参考文献] *使用した場合のみ 生活支援技術Ⅰ (中央法規) 生活支援技術Ⅱ (中央法規)		[成績評価の方法・基準] ・定期試験の素点8割 ・平常点(出欠席・授業態度・課題提出等)2割 *評価基準は評価記入用紙による。

回数	授 業 内 容
1	介護演習について・身体部位の名称
2	介護演習について・身体部位の名称
3	車椅子の移動（外出演習）
4	歩行・杖歩行介助
5	衣類着脱
6	衣類着脱介助・立ち上がり・着座
7	衣類着脱介助・立ち上がり・着座
8	リネン交換・整容
9	リネン交換（コーナー作成）
10	リネン交換（コーナー作成）
11	1 段階実習前確認
12	ベッド上の移動介助
13	ベッド上の移動介助
14	車椅子からの移乗介助
15	車椅子からの移乗介助

回数	授 業 内 容
16	食事介護について
17	食事介護について
18	食事介助
19	食事介助
20	実技試験オリエンテーション
21	実技試験
22	実技試験
23	清潔について
24	手浴・足浴
25	手浴・足浴
26	洗髪の介助
27	洗髪の介助
28	前期振り返り
29	前期振り返り
30	前期まとめ

回数	授 業 内 容
31	入浴の介護
32	入浴介助
33	排泄の介護
34	排泄の介助（おむつ交換）
35	排泄の介助（便尿器・ポータブルトイレ）
36	食事の介護
37	食事の介助（視覚障害・片側麻痺・ベッド上）
38	食事の介助（視覚障害・片側麻痺・ベッド上）
39	2段階実習前確認
40	実技試験オリエンテーション
41	実技試験
42	実技試験
43	3段階実習前確認
44	後期振り返り
45	後期まとめ